



【歳出について】

一般会計の予算規模は 36 億 3,950 万円の計上となり、前年度と比べ 4,750 万円 (1.3%) の微増となっていますが、主な要因としては「子ども手当」の制度開始などがあげられます。

普通建設事業費においては、2 億 630 万円の計上となり、前年度との比較で△3,650 万円 (△15.0%) の減となっております。主な事業としては、浅茅野地区における「教職員住宅建設事業」として 3,180 万円、浅茅野台地地区で継続実施の「道営農道特別対策事業」として 3,600 万円、歯科診療所における「診療機器購入費」640 万円などを計上しています。

ソフト事業では前年度に引き続き「暮らし応援商品券発行事業」としてプレミアム付き商品券の発行を行う村商工会に対し、20%のプレミアム分の助成として 400 万円を計上しています。

特別会計では下水道事業会計において「農業集落排水施設機能強化事業」として老朽化した鬼志別地区排水処理施設の改修費として 7,570 万円、病院事業会計では「医療器械購入事業」として 610 万円、また消防事務組合予算では、消防・救急体制の強化を目的に 20 年以上を経過した現車両の更新のため「水槽付消防ポンプ自動車 (タンク車) 購入事業」として 5,900 万円を計上しています。

